

# 学校生活の様子 5月

今年度が始まり、およそ2か月が経とうとしています。子どもたちは徐々に新しいクラスに慣れてきたようです。

全校で校庭に集まって朝会をしたり、宿泊行事を再開したりするなど、少しずつではありますが、以前の学校生活で見られた光景を取り戻しつつあります。

感染対策を行いながら、子どもたちが豊かな学校生活を送れるように取り組んでまいります。



※所々にある花壇の写真は、飼育栽培委員会の人々が花壇で撮影したものです。

## 1年生

### 【あさがおを育てよう】

生活科でみんなに知っているお花の名前を聞くと、「ひまわり!」、「あさがお!」の名前がすぐに出てきました。お花を育てたい気持ちがいっぱいなので、一年生。

5/9(月)にあさがおの種をまきました。鉢植えで植物を育てるのが初めてのお友達も多く、「種はどうやって植えたらいいいのかな?」

「芽が出てくれるかな?」

と、分からないことがいっぱいでしたが、一つ一つ作業をして、種を植えることができました。芽が出てくるのが楽しみです。



### 【ポップコーンの種植え】

同じ日（5/9）に今度は近くの畑で、ポップコーンの種を植えました。こちらは、地域の農家の方にご協力をいただきました。ポップコーンと聞くと、容器に入った食べられるポップコーンを思い浮かべる子どもが多く、「どうして、ポップコーンが畑で育つの？」と不思議がっていました。謎が解ける日が、今から楽しみです。



2年生

### 【夏野菜を植えました。】

今年は、一人一つ、ピーマン・ナス・ミニトマトの中から自分で選んだ野菜をバケツの鉢で育てます。子どもたちは、花農家の方から直接苗を購入し、苗を植える際のポイントを聞いたり、質問したりしました。後日、苗を植えるときには、聞いたことを思い出しながら、「実ができるのが楽しみだな。」「元気に育てね。」と声をかけながら、大事に植えることができました。子どもの思いや気付きを大切に、学習を進めていきます。



### 【初めてのまちたんけんに行きました。】

先日、上瀬谷のまちを探検しに行きました。子どもたちは、「学区が広いんだね。」「この公園でよく遊んでるよ。」と自分たちの住むまちに目を向け、気付いたことを交流していました。上瀬谷のまちの場所や人とのかかわりを深めることができるよう、取り組んでいきます。



【カブトムシの山】

以前の町たんけんで「ふしぎな場所」を見つけました。その土地の所有者の方をお願いをして、中に入れていただいたところ、カブトムシの幼虫がたくさんいる場所を見つけました。

「すごい！何匹もいる！」と、子どもたちは大興奮です。許可を得て、学校に持ち帰ることにしました。

その場所をよく見ると、「木」よりも「竹」が多いことに気づきました。総合的な学習の時間を使って、この場所の秘密について調べていくことになりました。



【絵の具で色を作りました】

図工の時間に、絵の具を使って好きな色を作りました。

含ませる水の量を変えるだけで、違う色に変身する様子を見て、子どもたちは「きれい！」「この色が好き。」と言いながら色作りを楽しんでいました。



楽しみにしている愛川宿泊体験学習に向けて準備を進めています。「学び合い 支え合い 協力し合い 楽しみ合い 愛川クローバー」を意識して、充実した学習になるように活動しています。一人ひとりが係を担当し役割に責任をもって、自分たちで学習を作り上げようと頑張っています。



【芸術音楽鑑賞教室】エバリーさんに来校いただき、ピアノとバイオリンのコンサートを開いていただきました。曲に合わせて体を動かしたり、よく知っているアニメの曲の生演奏を聴いたりして音楽を楽しみ、1時間があっという間に過ぎました。児童を代表してバイオリン演奏に挑戦した子は「あごにビリビリ振動が伝わってきてすごかった。」と直接楽器に触れ、音の響きを感じていました。また、「演奏を聴いて、自分も色々な曲を弾けるようにピアノの練習をがんばりたい！」と目標を立てた子もいました。



【今年の総合は…??】昨年度の横浜瀬谷うどの活動を振り返り、今年の活動について話し始めています。のぼり旗を掲示してくださった区役所の方に来校していただき、まちの方や区役所の方の反応を伺いました。多い日では200人くらいの方が来庁される区役所でたくさんの方が見てくださったことを教えてくださいました。区政推進課の方は「のぼり旗を見てみなさんの活動を知って、横浜瀬谷うどのことを知りました。初めてうどを食べておいしかったです！」とお話してくださり、自分たちの活動の広がりを感じることができました。また、同課の方からは、「瀬谷区の魅力を見つけて多くの人に知ってもらえるような活動をしてもらえると嬉しいです。また、まちにポイ捨てされたごみが海に流れ着き環境を壊しているから、身近なまちのごみについて考えて自分たちにできることをしてくれと嬉しいです。」とお話をいただきました。さて、今年はどんなことに取り組んでいこうか…子どもたちと考えていきたいと思っています。